

【児童生徒向け】生成 AI(Gemini)利用ガイド

今日から、学校のアカウントで生成 AI「Gemini(ジェミニ)」が使えるようになります。生成 AI は「答えを教えてくれる魔法」ではなく、あなたの「考え」を助けてくれるパートナー(相談相手)です。正しく使って、もっと楽しい学びを見つけましょう！

1. 使うときの「3 つの約束」

- ① 個人情報を入力しない
自分や友達、家族の「名前」「住所」「電話番号」などは、絶対に入力してはいけません。
- ② 丸写しはしない・著作権を守る
生成 AI が作った文章や画像を、そのまま自分の宿題や作品として出してはいけません。自分の考えを広げるヒントとして使いましょう。
- ③ 必ず自分で「本当かな？」と確かめる
生成 AI は、もっともらしい「ウソ」をつくことがあります。大事なことは、必ず教科書や図鑑、信頼できる本で調べ直しましょう。

2. AI の答えは必ず確かめよう(重要！)

生成 AI の答えは、ときどき間違っていたり、古い情報が含まれていたたりすることがあります。答えをそのまま信じず、次の方法で確認しましょう。

確かめる方法

- ① 教科書や資料集で確認する
学習に関する内容は、まず教科書や資料集、図鑑などで確認しましょう。
- ② 信頼できるサイトや情報で確認する
必要に応じて、国や自治体、学校、図書館、博物館などの公式サイトで確認しましょう。
- ③ AI に聞き返してみる
「その理由を教えてください。」「その情報の根拠は何ですか。」「別の言い方で説明してください。」「間違っている可能性はありますか。」などと聞いてみましょう。
- ④ AI の確認機能が表示される場合は活用する
AI に回答内容を確認する機能が表示される場合は活用しましょう。ただし、その結果だけを信じず、自分でも教科書や信頼できる資料で確認することが大切です。

覚えておこう！

- AI の答えをそのまま信じず、教科書や資料、信頼できる情報で確認しよう。
- AI に聞き返したり、自分で考えたりして、最後は自分で判断しよう。

3. おすすめの聞き方の例

生成 AI には「答え」を聞くのではなく、「やり方」や「ヒント」を聞くのが上手な使い方です。

- 「この長い文章を、小学 5 年生にも分かるように 3 つにまとめて。」
- 「算数のこの問題、答えではなく、解くためのヒントを順番に教えて。」
- 「『夏休みの思い出』の作文、どんな風に書き始めると面白くなるか 3 つ提案して。」
- 「〇〇について調べたいので、調べるためのキーワードを 5 つ教えて。」